

## 物部川きれいになあれ!

—物部川流域で清掃活動が行われました—

7月12日、物部川流域（香美市・香南市・南国市）で物部川の一斉清掃が行われました。この一斉清掃は、毎年河川愛護月間である7月に、国土交通省四国地方整備局高知河川国道事務所と流域自治体（香美市・香南市・南国市）が行っているもので、香美市内では、町田堰周辺・物部川緑地公園および対岸（土佐山田町）で行われ、約350人※の参加者が約1時間のごみ拾いを行い、46袋のごみが集まりました。  
※流域全体の参加者は約400人。



物部川一斉清掃

また、7月18日、吉川漁港周辺（香南市）でのごみ拾いが行われました。このごみ拾いは、物部川流域ふるさと交流推進協議会（香美市、香南市、南国市、アクア・リブル・ネットワーク）、ごみのない物部川をつくる連絡会、高知県漁業協同組合吉川支所が主催し、昨年に引き続き2回目となりました。

当日は、194人の参加者が約1時間のごみ拾いを行い、ごみの分別・集計が行われました。ペットボトル、アルミ・スチール缶、ビン、プラスチック等115袋、そのほかに粗大ごみ2tトラック3台分と、捨てられていたごみの多さに参加者は驚いていました。



吉川漁港周辺ごみ拾い

## エコを考えよう! ふないれ祭り開催

7月18日、舟入小グラウンドで『第5回ふないれ祭り』が開催され、地域住民らが参加し、祭りを楽しみました。  
この祭りは“地球にやさしいふないれ祭り”をテーマに行われており、空き缶リサイクルの啓発を兼ねた『空き缶積み大会』などが行われました。会場では、全児童がそれぞれ絵を描いて作ったエコ風呂敷の展示が行われていました。



展示されたエコ風呂敷

## まちをきれいに!—地元企業ボランティア活動—



国道清掃作業

7月7日、早朝より香北観光のドライバーの皆さんが、国道195号線（高知工科大学～物部町）で清掃活動を行いました。

ビン・缶・ペットボトルなどのごみが軽トラック1台分ほど集まりました。清掃活動を始めて数年になりますが、当初から比べるとゴミの量は1/3程になったそうです。

また、8月4日・6日に、美良布商店街の街路灯の清掃が行われました。この清掃は8月の『電気使用安全月間』にあわせ、県香長地区電気工業協同組合（西山富美男理事長）により行われ、顔を拭いてもらったアンパンマンは気持ち良さそうでした。



街路灯の清掃



©やまなかし

高知県は、明治から大正・昭和にかけて、数多くの芸術家を輩出しています。中央画壇での活躍を期待されながらも高知に帰郷し、高知を中心に活躍した作家も多く、彼らは特に戦後の県の芸術文化振興に大きな力を発揮し、また後進の指導にも力を尽くしました。彼らの絵や書に対する思いは熱く、残された作品から情熱が伝わってきます。

今回は、普段あまり美術館等の公の場に出ることのなかった企業や個人所蔵の作品を中心に展示します。前期は、石川寅治・高橋虎之助・手島右卿のほか、高知ゆかりの作家、平賀亀祐・小磯良平など、初公開の作品も数多く含まれています。また、後期は香美市ゆかりの作家、門田光秋・福富栄・福原云外などの作品が並びます。



▲石川寅治作 早春の富士

前期・後期ともに、人生を豊かにしてくれる絵や書を作品を楽しんでいただけです。香美市の皆さんにぜひご覧いただきたい展覧会です。ご来館をお待ちいたします。  
(館長・北 泰子)

写真の作品は、石川寅治の1955年頃の油彩画『早春の富士』です。小品ながら豊かな色彩、のびやかな筆のタッチ、明るく力強い作品です。石川作品の初期には見られない魅力に溢れています。

## 「土佐の熱き芸術家たち」

前期：明治・大正から昭和へ

9月19日(土)～10月25日(日)

後期：昭和から平成へ

11月7日(土)～12月20日(日)



香美市立美術館

92歳で逝去された福原云外先生の追悼展を開催します。生前、福原先生を中心に結成された「雲の会」のメンバーの皆さんのご協力を得て、絶筆を含む味わい深い作品群を展示します。

## 姉妹都市交流をよび

8月8日・9日に姉妹都市福井県あわら市の温泉街で行われた第4回あわら湯かけまつりに香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会（西山武会長）が主体となって7人の訪問団が参加しました。

温泉街では、湯かけみこしと太鼓奏者による花車が練り歩き、みこしが巡回を終えると、観光客らが温泉のお湯をつぎつぎとかけ、祭りを盛り上げていました。



香美市ブース

訪問団は、会場で香美市の地場産品であるしょうがや、ゆずの関連商品を販売し、交流を深めました。  
(香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会)



あわら湯かけまつりに参加!